

【巻頭言】 ロッシーニ・オペラ・フェスティバル—楽しみこそ文化を育む—.....	海津 幸子	p.2
2020-21 年度会長・理事選挙開票結果報告	選挙管理委員長 榎下 達也	p.3
日本音楽表現学会第18回（ペガサス）大会のご案内		p.4
ご案内、実行委員会組織、大会日程と会場、プログラム概要と発表者氏名		
受付、アクセス、会場配置図 宿泊、参加費、情報懇親会、参加申込、総会委任状、等		
新入会員紹介		p.11
日本音楽表現学会後援コンサート等情報		p.12
会員による新刊・DVD リリース等情報		p.13
『音楽表現学』Vol.18 原稿募集		p.14
『音楽表現学』Vol.18 に投稿をお考えの方へ		p.15
事務局からの重要なお知らせとお願い		p.16
年会費の納入について		
住所等会員情報の変更		
学会員のサポート制度		
会員への情報公開		
学会発刊の書籍の販売について		
入会手続きについて		
退会手続きについて		
日本音楽表現学会第18回（ペガサス）大会のご案内		p.20
2019 年度役員・委員等一覧		p.20
編集後記		p.20

日本音楽表現学会



所在地：〒616-8025 京都市右京区花園土堂町1-6

事務局：同上

Tel. 075-462-1388

E-mail: music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

<http://www.music-expression.sakura.ne.jp/>

年会費：5,000円

振込先：郵便振込口座 01370=6=78225 日本音楽表現学会

ロッシーニ・オペラ・フェスティバル —楽しみこそ文化を育む—

海津 幸子（電子オルガン／財務担当理事）

ジョアキーノ・ロッシーニの生地、イタリア中部マルケ州の海辺の街ペーザロ。この小さな海辺の街に毎年8月に行くようになって、かれこれ10年の年月が経ちます。オペラの魅力に取り憑かれて、ヨーロッパ各地や北米のオペラ・ハウス、あるいは各地のオペラ・フェスティバルに行きましたが、このところ外せないのがロッシーニ・オペラ・フェスティバル（ROF）なのです。

ロッシーニと言うと『セヴィリアの理髪師』や『チェネレントラ』などのオペラ・ブッフアは日本でもよく上演されます。しかし、全39作品の中にはオペラ・セリアにも優れた作品が多く、ROFでは普段なかなか触れることのできない多くの作品を観ることができるのです。アジリタがちりばめられ、ハイDの超高音が記譜されたテノールが何人も登場する演目は上演困難とされていますが、どの歌手も胸のすくような超絶技巧とグイグイ高揚するフレーズ、そして歯切れの良いリズムとメロディーをここぞとばかりによく歌うオーケストラ……これだけでも何回もその興奮に浸りたくくなります。演出は古典的なスタイルの演目もありますが、最近はかなり刺激的な演出も多く、1回の観劇では消化しきれません。ひと夏のフェスティバルで3演目の上演があるのですが、多くの観客が1週間2週間とペーザロに滞在して2回3回と同じ演目を鑑賞します。私もその一人。公演がつまらなければそうはしないでしょう。

もう一つ魅力は、教育機関アカデミア・ロッシニアーナ修了生で毎年公演される『ランスへの旅』。若手歌手の登龍門的存在で、ここでデビューしてその後、世界の歌劇場で歌うようになった歌手も少なくありません。「あの子はなかなか良い声だね、世界にはばたく歌手になるよう応援するよ」と、観客が話していたりして、歌手を発掘し応援する文化があるのです。毎年通う人たちが多いのもその文化があるからこそ。他にも昼間は毎日のようにリサイタ

ルが開催され、話題の歌手のみならずロッシーニの器楽作品にも触れることができます。まさにロッシーニ・シャワー！

世界中から集まる観客も心から楽しみ、ああでもないこうでもない感想を述べ合います。見識が高くかなりマニアックな人も多いのですが、まるで自ら参加しているかのように真剣に語ります。もちろんスポンサー企業も多いですが、後援会組織もしっかりしていて、まさに、皆で支え育んでいこうという意識を起こさせるようなフェスティバルなのです。

終演後にはワイン・グラスを傾け、海の幸豊かなイタリア料理に舌鼓を打ちながら、公演の余韻に浸ったり、わいわいオペラ談義に花を咲かせたり。これもペーザロの楽しみのひとつかもしれません。街を歩けば指揮者や演出家もぶらぶら散歩していて、レストランテに入ればあの歌手たちと一緒にすることもしばしば。そしてフランクにお互い声を掛け合う……「昨日の公演よかったですよ」「ありがとう」「明後日も観に行きますからね」「楽しみにしています」「頑張つて」 ショップの店員さんも「歌手の〇〇〇さんが、昨日買い物に来たよ」「オペラはわからないけど〇〇〇さんは素敵だったよ」などと話してくれます。

舞台上の人も観客も、そして街中の人々がROFを愛し楽しんでいる。そんな文化を日本でももっと育んでいたら！

今年は新型コロナ・ウイルス感染の流行の影響で、イタリアも大変なことになっています。今年のROFはどうなるのかとやきもきしながらニュースを見ている人が世界各地にいると考えるのは、私だけではないはず。



【写真】ロッシーニ劇場玄関
(イタリア・ペーザロ)

2020-2021 年度会長・理事選挙結果報告

日本音楽表現学会会長

後藤 丹 様

2020 年 3 月 20 日

2019 年度選挙管理委員会

委員長 樫下 達也 (印)

委員 大澤 智恵 (印)

” 田邊 健太郎 (印)

2019 年度選挙管理委員会では 2020-21 年度会長・理事選挙の開票を 2020 年 3 月 20 日（金・祝）に本学会事務所において行いました。その結果をここに報告いたします。

記

	役職名	候補者氏名	票数	信任の可否
1. 有権者数 600 名	会長	小西 潤子		○
2. 投票者総数 284 名 (47.3%)	理事	小野 亮祐		○
3. 有効投票数 282 票	理事	上山 典子		○
4. 無効票 2 票 (消印無効)	理事	澤田 まゆみ		○
5. 有効投票数における各候補者の信任票数 右の表の通り。(HP では削除します。)	理事	杉江 淑子		○
6. 信任の可否	理事	寺内 大輔		○
今回の最小信任率 87.3% は前回の最小信任率 86.5% を上回っていることから、全候補者が 信任されたものと判断した*。	理事	藤原 嘉文		○
	理事	山名 敏之		○
	理事	渡会 純一		○

* 「選挙規定」には信任の可否の基準が記されていないため、上記のように判断した。「選挙規定」には信任の可否の基準を追記する必要がある。

以上。



日本音楽表現学会 第18回（ペガサス）大会のご案内

音楽は生き残れるか

日本音楽表現学会会長 後藤 まこと 丹

会員の皆様、この文を書いている時点で、新型コロナウイルスの勢いはまだ停止していません。この騒動で、多くのコンサートや音楽の催しが延期・中止に追い込まれました。中世ヨーロッパにおけるペスト蔓延の恐怖が現代によみがえったようです。

童話「ハーメルンの笛吹き男」ではネズミの大量発生が描かれていますが、ネズミの次に予想されるのは恐ろしい伝染病であり、それを笛の音（音楽の魔法）が救ったとも解釈できます。しかし、音楽の機能を低く見た市民は、子供を連れ去られるという重い罰を受けることになります。

ペガサス大会の開催地群馬では実行委員会の方々が一年も前から熱心に準備を進めて来られました。基調テーマはあたかも「神話」。古来、音楽の持っている根源的な力が再認識されるはずです。また、美しい建築群が調和する新島学園短期大学キャンパスで音楽について語り合うひと時は、私たちにとって待ちわびた再会であり、きっと新たな音楽活動の出発点となることでしょう。

皆様はこれまで感染を避けて一人、練習や読書による雌伏の時を過ごされたのではないのでしょうか。音楽の素晴らしさを改めて確認し、こんな時にこそ、みんなで高崎に集まりませんか。

第18回「ペガサス」大会への誘い

大会実行委員長 吉田 秀文

第18回「ペガサス」大会は上州群馬の玄関口である高崎市で開催します。群馬県はちょうど日本の真ん中に位置し、山々に囲まれた自然豊かな環境にあります。日本三大名泉の一つ草津温泉（草津町）をはじめ、世界遺産の富岡製紙工場（富岡市）、口筆で詩情豊かな作風を描いた星野富弘氏の作品を展示した富弘美術館（みどり市）、などは是非ともご案内したい名所があります。また、映画「ここに泉あり」で、地域とともに歩み発展を遂げた群馬交響楽団も知られているところです。その他にも地域の伝統芸能として、古くから伝わる人形浄瑠璃や歌舞伎などが、地域の保存会の方々によって継承されています。

昨今、「ネット社会」が普及し、音楽を享受したりや発信したりする方法も大きく変わりました。同時に世界中の音楽が広く紹介され、その多様性が顕著になっています。また、小学校では今年度から新学習指導要領が全面実施され、主体的・対話的で深い学びの実現や教科としての見方・考え方の捉え方が注目されています。みなさま方の日頃からの研鑽に敬意を表するとともに、研究成果の共有を是非とも図って参りたいと祈念しております。実り豊かな大会となりますようメンバーが一丸となって精一杯取り組んで参ります。群馬でお会いできますことを楽しみにしております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

1) 大会実行委員会組織（敬称略）：

実行委員長：吉田 秀文（群馬大学）

事務局長：澤田まゆみ（新島学園短期大学）

実行委員：瓜生 郷子（新島学園短期大学）

渋川ナタリ（東京藝術大学）

中里 南子（群馬大学）

金山茉莉花（新島学園短期大学）

高木麻衣子（東京福祉大学）

林 智草（育英短期大学）

2) 大会日程と会場：

12日（金）											
											16:00—19:00—
理事会→実行委員会と共に会場設営											
13日（土）											
10:00	12:30	13:00	13:25	13:55	14:10	14:25	14:45	15:00	15:10	15:20	15:30
会場準備	受付	開会式	基調講演	レクチャーコンサート	休憩	総会	休憩	サロン	移動	特設交換会	
編集委員会	1Fロビー	図書館棟3F 礼拝堂							A～H室		エテルナ高崎
14日（日）											
8:30	9:00	10:30	10:45	11:45	12:15	12:35	14:15	13:00	13:30	13:45	14:00
受付	分科会ⅠA～F	休憩	分科会ⅡA～F	昼食	分科会ⅢA～F	休憩	分科会ⅣA～F	昼食	分科会ⅤA～F	昼食	昼食
1Fロビー		A～G室		学生ホール				A～G室			

3) プログラム概要と発表者等氏名 (敬称略) :

オープニング: ジョン・ラター作曲《詩篇 150》

演奏: 群馬大学学生有志、吉田 秀文 (指揮)、小川 有紀 (Org.)

基調講演: 「神話と音楽」

講師: 神部 智

レクチャーコンサート: 「神話に基づく音楽」

- I ギリシャ神話に基づく音楽 企画: 安田 香
Debussy <ビリチスの3つの歌> 第1曲、第3曲 (Sop.) 柚木たまみ・(Pf.) 前田 則子
<シランクス> (パンの笛) (Fl.) 新保 江美・(Réci.) 柚木たまみ
- II 北欧神話に基づく音楽 企画: 神部 智
Sibelius <キュッリッキ> (Pf.) 大場 俊一
Loewe <海を渡るオーディン> (Bar.) 成瀬 当正・(Pf.) 大場 俊一
- III 日本神話に基づく音楽 企画: 齊藤 武
齊藤武 ミュージカル『東への風』(神武東征外伝) より「ヒムカの海辺で」
(Sop.) 宮田 知絵・(Ten.) 水野 亜歴・(Pf.) 山田 真季

趣旨: 儀礼はどの民族や文化においても欠かすことのできない要素である。儀礼の構造を規定してきたのは神話、儀礼を具体化してきたのは音楽である。神話は古代人の心の表現であり、世界認識の総体と言える。音楽は、そのような神話をよりどころとして発展してきたと言っても過言ではない。音楽の歴史が神話に多くを抛ってきたことから、今回の「ペガサス」大会では、神話に焦点をあて、「音楽と神話」の関係について参加者と一緒に考えたい。

ちなみにペガサスはギリシャ神話に登場する有翼の馬で、ギリシャ語の「泉」に由来すると言われる。神話を音楽のひとつの源泉ととらえて、今回は歴史に普く語り継がれた多種多様な神話の中からギリシャ、北欧、日本の3つの地域と、そこで生まれた音楽を取り上げる。企画はそれぞれの分野で研究を進めてこられた会員、演奏は当該分野の演奏実績をお持ちの会員にお願いしている。 (司会・進行: 奥 忍)

サロン: サロンでは専門や関心を同じくする会員が集まり、共通の話題・テーマについて話し合います。当日会員、地域の音楽家も交えてサロンらしいディスカッションが行われます。詳細は『大会要項』でお知らせします。

- A ピアノのサロン B 管弦打楽器のサロン C 声のサロン D 作曲のサロン
E 日本音楽のサロン F 指揮のサロン G 音楽表現と社会のサロン H ソルフェージュのサロン

研究発表等: すべて6月14日(日)に行います。プログラムは以下の通りです。

会場	司会	発表種	発表者	発表題目
分科会 I (① 9:00-9:40 ② 9:45-10:25)				
A	大場 俊一	① WS	石場 惇史	ブレイン・ダンスを使用したハーモニーの身体表現について
		② PP	深井 尚子	ウィーン会議とベートーヴェンの寡作期の関係についての考察
B	永岡 都	① PP	榊原 明子	「風景と音楽」
		② PP	中畑 淳	室内楽曲におけるピアノパートの指導
C	加茂下 稔	① PP	鷲野 彰子	前奏を演奏する文化—初期録音に残された「前奏」演奏—
		② PP	中村 隆夫	ざんねんな合唱教本「コールユーブンゲン」

- D 今 由佳里 ①② WS 河本 洋一 パーカッション・ボイス体験講座
- E 中村 公俊 ① PP 榎山 陽子 ヘンデル《陽気の人、ふさぎの人、温和な人》の歌詞の扱いと音楽
② PP 杉山 雄一 スコルダトゥーラか否か
—モーツァルト「Vn と Va の為の協奏交響曲」ヴァイオラパート演奏法考—
- F 在原 泉 ① PP 本間 千晶 歌唱表現にもたらす身体調整法の効果—ピラティス・メソッドに着目して—
② PP 松川 亜矢 児童の歌声の自己認識と発達の一特徴について
—小学3年生から6年生を対象とした実態調査より—

分科会Ⅱ (① 10:45-11:25 ② 11:30-12:10)

- A 大場 文恵 ① PP 横山 芙由美 ベートーヴェンのピアノソナタに見られる抒情性についての考察③
② PP 中谷 路子 J. ブラームス《51の練習曲》WoO 6 と、自作ピアノ独奏曲との関連性
—身体的動作の観点から—
- B 原田 宏司 ① PP 藤原 嘉文 音楽の即興表現を考える (8)
—Beethoven 時代の実践とその応用の可能性 その2—
② PP 三島 郁 J. D. ハイニヒェンのレチタティーヴォ伴奏における和音の選択
- C 木下 千代 ① DM 村尾 忠廣 日本語によるアウフタクトを工夫する
—感嘆詞, 指示代名詞の活用とモーラ音数の前出し処理—
② PP 高木麻衣子 ピアノ演奏における筋肉使用と加速度のみえる化
—アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズを題材にして—
- D 木下 和彦 ① PP 中 磯子 高齢者の集団に対する歌唱をとり入れた二重課題がおよぼす心理的影響
② PP 亀井 貴幸 初学者のためのギターを用いた楽典指導法
- E 豊田 典子 ① PP 山本 奈央 スクリャービンのピアノ・ソナタ第4番までの作風の変遷について
—作品番号のない2曲のピアノ・ソナタを中心に—
② CP 加藤内藏進・加藤 晴子
歌や伝統行事からみるドイツ・北欧と日本の夏の気候や季節感
—音楽と気候の学際的連携による ESD 授業開発の視点から—
- F 樫下 達也 ① DM 土師 範子 和太鼓を用いた表現活動—初心者的大学生が取り組んだ事例—
② PP 佐藤 和貴 音楽表現に関わるメディア・アーティストの作品及び教育手法に関する研究

分科会Ⅲ (① 13:15-13:55 ② 14:00-14:40)

- A 小島 千か ①② WS 渋川 ナタリ フランス宮廷舞踏から見る舞曲演奏法
- B 舟橋三十子 ① PP 田中 宏明 シュナーベルが遺したピアノイズムとは—シュナーベル版ベートーヴェン
《ピアノソナタ》のフィンガリングを手掛かりに—
② PP 大谷 正和 3度転調の手法とその演奏表現効果について
—ベートーヴェンとロマン派の作曲家のピアノ作品を中心に—
- C 嶋田 由実 ① PP 小川 有紀 西洋音楽教育の来歴—教会教派から小学唱歌集成立の一側面を分析する—
② PP 田島 孝一 日本人演奏家の特異性とその原因及びその解消法の考察
- D 中村 滋延 ①② 学会企画統一テーマ「音楽の伝統と伝承」⑧音楽表現におけるメディアの影響
情報提供 寺内 大輔・橋本 智明・檜垣 智也
- E 大竹 紀子 ① PP 宮川 渉 武満徹《地平線のドーリア》における様々な音楽要素の共存のあり方
② PP 梶村 有美 学校における合唱伴奏の経験がもたらすもの
—音楽の非言語的コミュニケーションについての一考察—

- F 内山 尚美 ① PP 鈴木慎一郎 学生参画による「子どもの音楽イベント」の実践—2019年度—
 ② PP 久保田葉子 教職を目指す大学生の文化芸術活動と音楽的見方・考え方の育成
 —十文字学園女子大学と公益財団法人和光市文化振興公社の取り組みから—

分科会IV (① 15:00-15:40 ② 15:45-16:25)

- A 久次米裕江 ① CP 斎藤 慶子・澤田 まゆみ
 コニユス作曲バレエ『ダイタ』(1896年)—ロシアに渡った日本のうた—
 ② PP 阿部亮太郎 松村・武満・三善と、ストラヴィンスキーの作曲のスタンスの差異から考える
 「自由な音や様式の選択」と「不可避の状況の体現」との距離
- B 吉田 直子 ①② WS 小島 エマ 「ミュージック・ラーニング・セオリー」に基づく教材集
 “ミュージシャンシップ”による創作にむかう即興の試み
- C 末永 雅子 ① PP 後藤友香理 演奏家の解釈の言語化について—G. 山根美代子のレッスンを事例として—
 ② PP 佐藤 成記 「音楽表現の創意工夫」に関する理論的諸背景の追求についての—考察
- D 田邊健太郎 ① PP 田中 昌司 ミラーニューロン活動はオペラ・パフォーマンスの評価に使えるか？
 ② PP 木村 貴紀 演奏と音楽批評間に生じる乖離と分立 (仮題)
- E 稲木 真司 ① PP 徳永 崇 フィンランドの基礎教育における作曲指導の最新動向
 —教育支援データバンク“Opus1”に着目して—
 ② CP 尾見 敦子・枝村 美夏
 コダーイの教育法における「Musicianship」の理念と実践
 —保育者・小学校教員養成の授業への応用をめざして—
- F 中嶋 俊夫 ① CP 疇地 希美・嶋田 ひろみ・山本 八千代・吉村 雅美
 絵本「てぶくろ」を活用した音楽会—鑑賞型と参加型の実践報告—
 ② PP 西田 紘子 複数のマスタークラスにみるコミュニケーション構造の比較分析

分科会Vポスター発表 (11:45-13:15) (学生ホール)

- 1 CP 佐野 仁美・岡林 典子 小学校中学年の旋律づくりの試み—替え歌を用いて—
- 2 CP 松浦 光男・横田 揺子 我が国における6歳児からの管楽器早期教育
- 3 PP 石原 慎司 戦前の専門的指揮法教授の一事例—ルドルフ・フェッチの講義録から—
- 4 PP 宮田 知絵 明治期唱歌の歌詞を考える—当時の教養と現在の理解—
- 5 PP 古庵 晶子 高齢者ピアノ学習のあり方とつまずき—高齢者への質問紙調査と演奏から—
- 6 PP 櫻井 知子 就労支援における自己表現能力の育成について—施設での歌唱活動を通して—
- 7 PP 新保 江美 オルセー美術館展におけるファイフ復元事業について—少年の笛ファイフよ！よみがえれ—

4) 受付：グレースホール1Fロビー

会場に入る前に必ず受付をして参加者ネームプレートや大会用文書をお受け取りください。

5) 情報交換会：これまでの「懇親会」を改称しました。基調講演やレクチャーコンサート、サロンなどで感じたこと、考えたこと、また、日ごろの研究や翌日の分科会での発表内容、その他一般的な問題など、様々な情報を参加の皆さんと話し合いたしましょう。

6) コロナ対策：ペガサス大会では、感染拡大の防止の観点から、感染の広がりや会場の状況等を踏まえて環境設定をします。事態の推移に伴って本部からご連絡をすることがありますので、ご連絡先（メールアドレス、電話番号）の変更は早急に事務局までご連絡ください。また、学会ホームページの更新にご注意ください。

7) JR「高崎」(東京から上越・北陸新幹線で約50分)からのアクセス

A 電車「信越本線横川行」利用「北高崎駅」下車(高崎駅から3分)

南口改札から徒歩5分、北口改札から徒歩3分。

*北高崎駅北口改札の利用可能日時は月曜～土曜の7:00-10:00, 15:00-19:00です。

日曜日は南口改札(=新島学園短期大学側)をご利用下さい。

*信越本線横川行は1時間に1本程度の運行です。接続状況と発車時間を予めお調べください。

B 「高崎」駅西口バスターミナルからバス利用

- ① 6番のりば「高崎問屋町駅」行(8:25, 13:05発等)または
9番のりば「ぐるりん大八木線5系統北高先回り」(9:45, 11:41発等)

「新島短大前」下車すぐ(所要時間約14分)

- ② 1番のりば「前橋駅」行(8:10, 11:45発等)

6番のりば「前橋駅」行(12:30発等)

「中央前橋駅」行(8:00, 8:45発等)

7番のりば「イオンモール高崎」行

「総合文化センター前」下車+徒歩7分

*降車後直進、歩道橋交差点を左折、

一つ目の信号を右折して300m

(所要時間約14分)

- ③ 2番のりば「箕郷」「伊香保温泉」「榛名湖」
「室田」行

5番のりば「渋川駅」「群馬温泉」行

「北高崎駅」下車+徒歩5分

(所要時間約17分)

C 「高崎」駅からタクシー

西口から約10分(約1,050円)

東口から約15分(約1,300円)

*ドライバーに「新島学園」でなく、「北駅近くの新島短大(昭和町)」とお伝えください。

学園本部と短大は別の場所にありますのでご注意ください。



8) 会場配置図

・受付 グレースホール1Fロビー

・サロン A ピアノ 図書館棟3F 礼拝堂

B 管弦楽器 図書館棟1F 音楽室

C 声 本館3F A31

D 日本音楽 本館3F A32(和室付)

E 作曲 本館3F A33

F 指揮 本館2F A21

G 音楽と社会 グレースホール2F G22

H ソルフェージュ グレースホール1F G11

・展示ブース グレースホール1Fロビー、周辺エリア

・出演者控室 図書館棟1F 音楽室

・理事会室 グレースホール1F 応接室

・編集委員会 セミナーハウス

・荷物置場 受付横

・参加者控室および昼食会場 学生ホール

・分科会 A 図書館棟3F 礼拝堂

B 図書館棟1F 音楽室

C 本館3F A31

D 本館2F A21

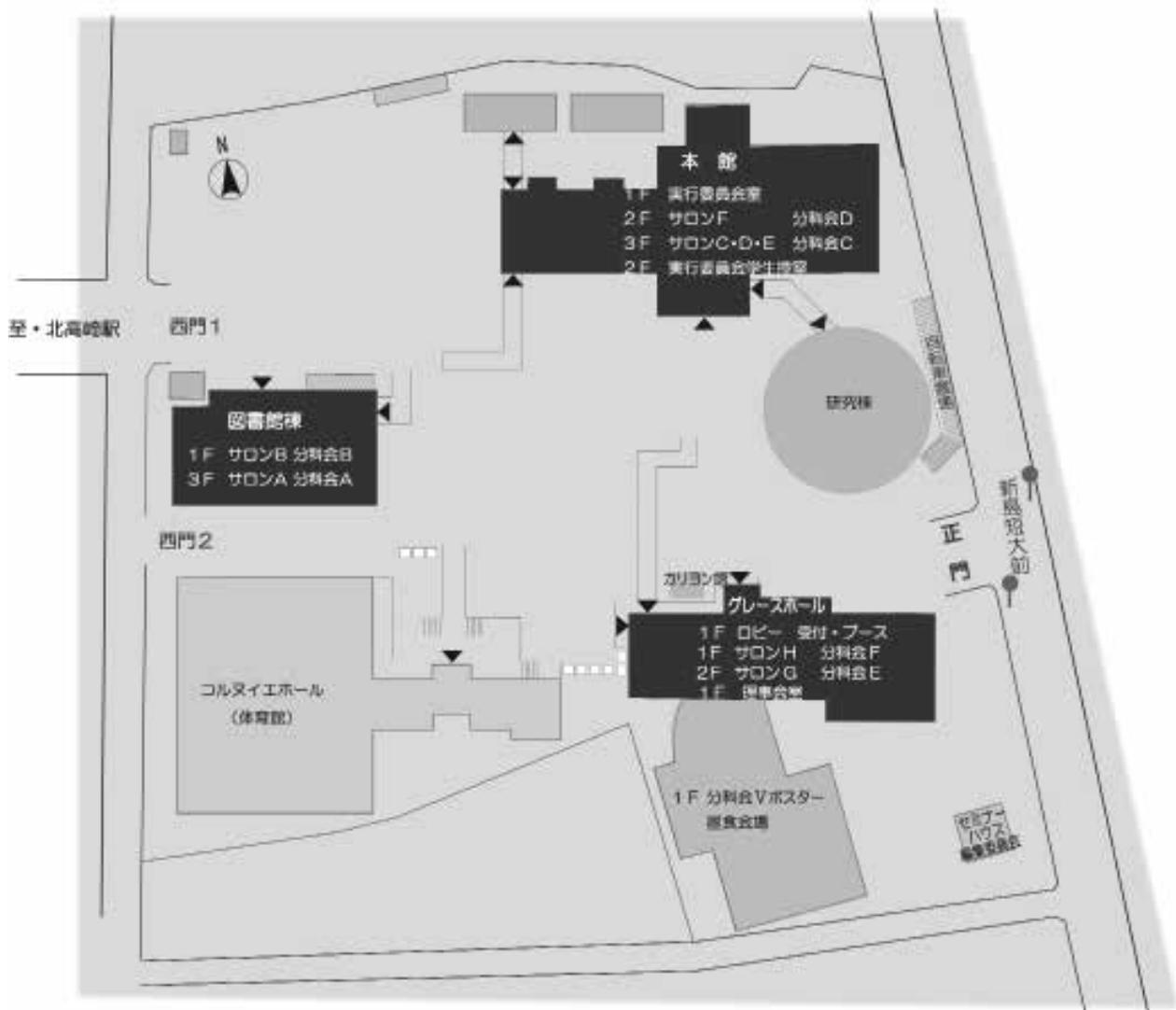
E グレースホール2F G21

F グレースホール1F G11

G 学生ホール

・実行委員会控室 本館1F A12

・実行委員会学生控室 本館2F A23



9) 宿泊状況：高崎駅周辺のホテルはオリンピック前の合宿やコンベンションセンターオープンのために予約がとりづらくなる可能性があります。早めの予約をお勧めします。

10) 参加費：学会員：5,000円　当日一般会員：1日につき3,000円　学部生：1日につき2,000円
 情報交換会：6,000円　弁当（お茶付）：1,000円

送金：必ず「大会参加用郵便払込取扱票」を用いて郵便振替をお願いします。
 受付での混乱防止のために当日振込領収書を念のためご持参下さい。

11) 参加申込手順：以下の①と②を必ずクリアしてください。

- ① まず、同封の「大会参加用郵便払込取扱票」を用いて
 ゆうちょ銀行01370-6-78225日本音楽表現学会にお払い込み下さい。
 学会員以外の方は事務局に参加希望を事務局にご連絡下さい。郵便振込票を送ります。
- ② 参加申込書を以下の書式にならって記入し、メールで事務局までお送りください。

music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

* 大学から徒歩5分圏内にコンビニはありますが学食営業はありません。

14日（日）の弁当は申し込むか、各自で適宜ご準備下さい。

・参加申込〆切：5月31日（日）24時 厳守

6月1日以降は、直接会場でお申し込みください。

参加申込書のご記入前にお振込みいただき、当日振込票を念のため必ずご持参ください。

・申込書宛先：記入事項をご確認の上、学会事務局までメールでお送り下さい。

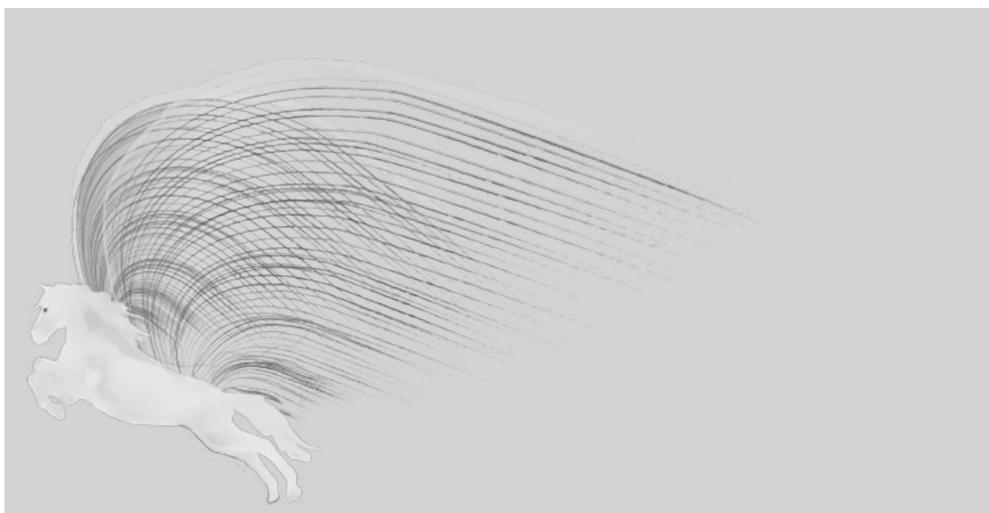
music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

・参加申込書式：以下の書式の該当項目に（✓）をご記入ください。

学会員以外の方は、一般（大学院生を含む）か学部生の別を該当項目に✓してお示しください。

（参加費を「大会参加用郵便払込取扱票」で払い込みを済ませた後に該当欄に✓してください。）

<p>【学会員用参加申込書書式】</p> <p>第18回（ペガサス）大会参加申込書</p> <p>必要事項をご記入ください。 該当する□に✓をつけてください。</p> <p>ご氏名： _____ 連絡先：〒 _____ e-mail： _____ 緊急連絡：（携帯電話等） _____ 大会参加費：□ 5,000円 情報交換会参加費：□ 6,000円 14日（日）のお弁当（お茶付）：□ 1,000円 合計： _____円 □ 以上の金額を（ 月 日）に振り込みました。</p>	<p>【学会員以外の参加申込書書式】</p> <p>第18回（ペガサス）大会参加申込書</p> <p>必要事項をご記入ください。 該当する□に✓をつけてください。</p> <p>ご氏名： _____ 連絡先：〒 _____ e-mail： _____ 緊急連絡：（携帯電話等） _____ 大会参加費： □一般 1日につき3,000円 参加希望日（ ）13日（ ）14日 小計 円 □学部学生1日につき2,000円 参加希望日（ ）13日（ ）14日 小計 円 情報交換会参加費：□ 6,000円 14日（日）のお弁当（お茶付）：□ 1,000円 合計： _____円 □ 以上の金額を（ 月 日）に振り込みました。</p>
<p>【重要】総会を欠席される方は学会登録メールアドレスを用いて、必ず委任状を提出していただきますようお願いします。</p> <p>2020年度総会委任状</p> <p>総会の議事、議案に関する一切の権限を議長に委任します。 ご氏名： 年月日：</p>	



「ペガサス」制作イメージ 太陽系を越え、銀河系を越えて、ペガサスはラニアケア超銀河団 (Laniakea Supercluster) を天翔る。 (奥 忍)

新入会員紹介

個人情報につき削除しています。

日本音楽表現学会後援コンサート等情報

つるざわ ともじゅ
鶴澤 友球 さん **海の宿 × 鶴澤友球 浄瑠璃ライブ**
日 時：2020年1月24日（金）18:00 開演
会 場：カフェレストラン海の宿（淡路市佐野 825-1）
演 目 等：外題／『仮名手本忠臣蔵』三段目〈殿中刃傷の段〉〈裏門の段〉
プログラム／部分演奏付き解説、ちよこっとお稽古体験、通し演奏
料 金：一般予約 2,000 円 高校生以下 1,200 円 当日 300 円増
主 催：カフェレストラン海
後 援：鶴澤友球会

つるざわ ともじゅ
鶴澤 友球 さん **BookCafe で楽しむ浄瑠璃ライブ**
日 時：2020年2月13日（木）14:00 開演
会 場：NPO 法人 あわじ FAN クラブ事務所 ^{おおぞら}宙（洲本市中川原町中川原 92-1）
出演者名：鶴澤友球
演 目 等：『伽羅先代萩』六段目〈政岡忠義の段〉
料 金：一般予約 2,000 円 高校生以下 1,200 円 当日 300 円増
主 催：NPO 法人 あわじ FAN クラブ

つるざわ ともじゅ
鶴澤 友球 さん **第2回 長楽 × 鶴澤友球 お座敷浄瑠璃ライブ**
日 時：2020年2月29日（土）10:30 開演
会 場：あかね坂 長楽（多可町中区中村町 16-1）
演 目 等：外題／『伽羅先代萩』六段目〈政岡忠義の段〉
プログラム／部分演奏付き解説、ちよこっとお稽古体験、通し演奏
料 金：一般予約 3,500 円 高校生以下 2,500 円（ランチ付）
主 催：あかね坂 長楽
後 援：鶴澤友球会

大木 美穂 さん **音楽をする人のためのメンタルトレーニングセミナー&ワークショップ**
日 時：2020年2月24日 10:00-15:00
会 場：東京音楽院（〒160-0022 東京都新宿区新宿5丁目11-20 伊土ビル 202号室）
講 師：ファシリテーター：大木美穂
演 題：音楽家のためのメンタルトレーニングについて（セミナーとワークショップ形式）
料 金：5,000 円（学生 4,000 円）
主催後援：東京音楽院・MorePianoProject

松浦 伸吾 さん **【C3】Vol.2 / 【立法 C】 第二回演奏会**
日 時：2020年3月19日（木）19時開演（18時30分開場）
会 場：豊中市立芸術文化センター 小ホール
料 金：3000 円（当日 500 円増）
出 演 者：松浦伸吾、他
主な曲目：松浦伸吾：ひらみかなる、From a borderline 他 8 曲
主 催：【C3】 project team
後 援：大阪音楽大学 武庫川女子大学音楽学部 他

安藤 政輝さん **安藤政輝リサイタル—宮城道雄全作品連続演奏会 20—**
日 時：2020年4月18日（土）14:00 時開演
会 場：紀尾井ホール
料 金：4,500円（前売券） 5,000円（当日券）
後 援：公益財団法人 日本伝統文化振興財団
演 奏 者：安藤政輝、他
曲 目：五十鈴川、空と海、静、秋の小夜曲、観音様他
問合せ先：ゼール音楽事務所 Tel. 03-3995-5221 kororinshan@gmail.com

豊田 典子 さん **歌の会★青い星が【海の日に】贈る**
—世界の名歌 100 曲リクエストコンサート Vol.4
日 時：2020年7月23日（木・祝）
会 場：国際楽器社4Fホール
演奏者名：豊田典子、他
曲目など：歌劇「トスカ」より歌に生き、愛に生き他
料 金：3,000円（前売り2,500円）
主催後援：歌の会★青い星

三木 康子 さん **三木康子ピアノリサイタル—時空を超え未来に響く音を求めて—No7**
日 時：2020年11月6日（金）19:00～
会 場：いずみホール
料 金：一般4,000円 学生2,000円
主な曲目：ブラームス：ピアノ・ソナタ第3番 op5、フォーレ：バラード op19、尾高惇忠：
ピアノ・ソナタ等
問合せ先：大阪アーティスト協会（06-6135-0503）

日本音楽表現学会会員による新刊・CD等リリース

斎藤 慶子 さん **「バレエ大国」日本の夜明け チャイコフスキー記念東京バレエ学校 1960-1964**
発 行：2019年12月13日
出 版 社：文藝春秋企画出版部文藝春秋企画出版部
定 価：2,200円＋税
I S B N：978-4-16-008963-1

小川 容子さん、他 編 監修：大串 健吾、桑野 園子、難波 精一郎
音楽知覚認知ハンドブック—音楽の不思議の解明に挑む科学
発 行：2020年2月28日
出 版 社：北大路書房
定 価：6,380円（税込）
I S B N：9784762830990

後藤 丹さん (楽譜集) **In the Town Where Breezes Flow**

(既刊のピアノ曲集「風透る街に」の英語版)

発 行：2020年3月1日

出 版 社：全音楽譜出版社

定 価：1,600円＋税

I S B N：978-4-11-1787090-8

奥 忍 さん (伝統音楽普及促進事業実行委員会編) DVD『能は面白い—羽衣』

DISK 1：【解説・実践編】＋DISK 2：【鑑賞編】

監 修：西野 春雄

発 行：2020年3月31日

発 行：伝統音楽普及促進事業実行委員会

定 価：2枚組 3,000円(税込)

問合せ先：伝音 denonhukyu@gmail.com

『音楽表現学』Vol.18 原稿募集

〆切は2020年5月15日(金) 24:00です。

『音楽表現学』編集委員長 水戸 博道

投稿資格：投稿者および共同執筆者は、「その年度の年会費を納入した会員に限る。」(投稿規定3)

執筆要領・投稿方法：『音楽表現学』Vol.17の巻末、または学会HPの「投稿規程」をご覧ください。

投稿書式：投稿時点では2段組でなく、1段組でご応募ください。

引用文献の記載方法：HPに例示しています。

執筆方法：本学会発行『2018年版研究論文執筆のしおり』を参考にされることをお勧めします。

- * 投稿する前に、ご自身が上記「投稿資格」に該当することをご確認ください。
- * 本学会発行『2018年版研究論文執筆のしおり』を座右にご執筆ください。執筆者の意図が読み手に伝わるかどうか、投稿前に周りの知人に一度読んでもらうことをお勧めします。
- * 応募原稿が論文及び学術誌の原著性を損ない、論文の著作権の帰属に関する問題や研究実績の不当な水増しにもつながり得る「研究者倫理に反する行為」にならないよう注意してください(文部科学省ガイドライン)。
- * 投稿に際しては学会HPに掲載されている「音楽表現学テンプレート」をご使用ください。
- * 投稿する前に、投稿予定の原稿が学会HPの「投稿チェックリスト」に適合していることをご確認下さい。
- * 投稿原稿には学会HPに示された書式の「投稿申込書」を同封してください。
- * 『音楽表現学』には昨年度から「原著論文」「評論論文」「研究報告」の他に「批評」「書評」「寄書」「展望」「解説」「その他、国際会議参加報告、研究所紹介等」も掲載できるようになりました。執筆に挑戦してみようとお考えの方はどうぞ学会事務局までお問い合わせください。

music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

皆さまの投稿をお待ちします。

『音楽表現学』 Vol.18 に投稿をお考えの方へ

毎年『音楽表現学』には多くの方が投稿してくださっています。編集委員会ではそれら投稿原稿と査読委員の意見を1本ずつ丁寧に読み込み、採択するに相応しいかどうか、議論を重ねています。しかし、過去の投稿原稿の中には急ごしらえのものや、メ切間際にエイヤツと決心をしてメ切日の23:59に送られてくるものもありました。投稿は自分の主張を人に読んでもらい、理解してもらうためのものです。もしも「書く」行為そのものに意味があると考えたら、ご自分の抽斗にそっと隠しておけばよいのです。

「人に読んでもらう、理解してもらう」投稿原稿を作成するために次の諸点に留意されるようお勧めします。

- ① 最初に本学会発行の『2018年度版音楽表現論文執筆のしおり』を一読されることをお勧めします。『しおり』にはこれから書こうとする人のために多くのヒントや練習が記載されています。
- ② 原稿完成を締切日の1週間前を目処にして作成されることを強くお勧めします。
- ③ 「完成した」と思ったら一晩寝かせてください。
- ④ 翌日、完成した原稿と「投稿チェックリスト」の項目を照合して、原稿が各項目を充足しているか、確認してください。
- ⑤ 同時に回りのだれかに読んでもらいましょう。他の分野の方でも構いません。読んでもらうことによって、自分の主張・意図を自分が考えているように理解してもらえるかどうか分かります。
- ⑥ 採択される原稿の多くは、以下のような要件を備えているといえます。
 - ・『音楽表現学』の掲載原稿として、内容や主題が適切である。すなわち、問題設定と研究方法・研究対象が、音楽表現研究として妥当であり、説得力がある。
 - ・関連する先行研究を十分にふまえた上で、未発表の原稿としてオリジナリティがある。
 - ・題名が内容を適切・正確に表している。
 - ・論旨の展開に矛盾や飛躍がない。
 - ・章・節の構成や順番が適切である。
 - ・結論は、はじめの問題設定に答えるものとなっている。
 - ・扱われている資料は信頼できるものであり、資料の解釈には妥当性がある。
 - ・『音楽表現学』の読者(音楽家・音楽研究者)が必ずしもその問題や領域の専門家であるとは限らないことを配慮している。
 - ・文章は明晰で、特殊な用語や表現などは正確に説明されている。
 - ・文章の引用方法や注・文献表記、譜例や図表は書式に合っている。
- ⑦ 演奏する曲を何度も繰り返し練習するように、自分の文章も何度も読み直して推敲しましょう。推敲は執筆者の主張の客観性を問い直すとともに、読み手に誤解なく伝わる文章へと原稿の質を高める過程でもあります。推敲に十分な時間と手間をかけてください。その熱意が原稿の評価へと結びつくでしょう。

重ねて、皆さまの投稿をお待ちします。

事務局からの重要なお知らせとお願い

1. 年会費の納入について

(1) 納入期限：その年度の4月1日から大会開催1週間前までにお願いします。

学会は皆様方の年会費で運営されています。滞納されますと、機関誌の発行、大会の開催など、さまざまな活動に支障をきたします。例年年度当初(4月)に速やかな納入をお願いしています。また、無意識滞納にご注意いただきますと同時に、対策の一助として、納入後はただちに、「振替払込請求書兼受領証」(ATM ご利用の場合は「ご利用明細票」)に、納入年度をメモの上、保存されることをお勧めいたします。なお、3年間滞納された方は除名となります。

(2) 振込方法：同封のゆうちょ銀行青色の「払込取扱票」をご利用ください。

電信での送金は、内容確認が困難であり混乱の原因となります。学会では、財務局での入金確認作業を確実にするため、学会で印字した「払込取扱票」の利用をお願いしております。何卒ご協力ください。

なお、振込先口座については本誌 p.1 の最下部に記載していますので必要な場合にはご参照下さい。

* 海外在住等、国内でのお振込みが難しい方は、事務局へご相談ください。

(3) 領収書・請求書の発行：必要な方は事務局へお問い合わせ下さい。

領収書は原則として発行いたしません。「振替払込請求書兼受領証」(ATM ご利用の場合は「ご利用明細票」)を領収書として保管ください。

大学研究費での引き落とし等、請求書・領収書の必要な方は事務局へお問い合わせください。財務局へ取次ぎ、発行手続きをいたします。

(4) 年会費減免措置について：自然災害等の被災による減免措置の制度 学会では、地震や洪水等、自然災害の被災によって年会費納入が困難な会員の年会費を減免する制度があります。必要な方は、HPから以下の書式をダウンロードし、申請ください。理事会に諮り、減免手続きをいたします。

「年会費減免願」書式 (20170321 版)：

被災による年会費減免願	
	年 月 日
日本音楽表現学会	
会長 後藤 丹 様	
このたび、(〇〇地震)被災により、(〇〇〇〇年度)年会費の納入免除をお願いいたしたく、減免願を提出いたします。	
なお、(□□□□)年度分までの会費は納入済みですのでご確認をお願いいたします。	
氏 名：	_____
現在の連絡先：	_____
連絡先電話番号：	_____
e-mail アドレス：	_____
減免申請の理由 (具立的に納付困難の理由をお記ください。)	

2. 住所等、会員情報の変更：HPフォームにて速やかにお知らせをお願いします。

<http://www.music-expression.sakura.ne.jp/form/postmail2.html>

学会からの送付物は事務局本部で理事とスタッフが手作業で、お届けいただいた連絡先にお送りしています。しかしながら、転居先不明等で返却される封筒が少なからず存在します。そのたびに所属先や、時には入会時の「推薦者」に問い合わせさせて再送しています。また、経費節減のために学会からの郵送物は郵送ではなく、「デリバリーサービス」を使っています。郵便局宛の住所変更届は民間配送業者には届きません。学会からの送付物が必ずお手元に届くように、また返送による送付作業の手間と経費を削減するために、みなさまのご協力を切にお願い申し上げます。

郵送物の住所変更届を郵便局に提出されても民間配送業者には届きません。

3. 学会会員のサポート制度

(1) 機関誌『音楽表現学』への投稿

原稿の投稿には、会員資格と当該年度までの会費を完納していることが必要条件です。手続きには2～3週間かかります。その点ご確認ください。

『音楽表現学』に論文が掲載されると、大学などでは「査読付学術論文」としての評価を受けます。年度末などに業績の報告をされる際には、その旨をお記し下さい。

投稿〆切は5月15日24:00です。

(2) 大会での発表

本学会ならではの生の音楽表現を含めた研究発表の機会をご利用ください。〆切期日は厳守ですので各自で明記してください。

大会発表応募〆切は、2月15日24:00です。

4. 会員への情報公開

(1) ニュースレターへの投稿

ニュースレターは会員の交流の場です。音楽表現に関するご意見など、ご寄稿ください。研究ノート、随想などを図表等を含めて刷り上がり1頁以内でお送りください。

(2) コンサート等の後援・協賛

本学会ホームページのリンクから〔コンサート等後援／協賛申請フォーム〕にて事務局へ申請してください。確認後、事務局より「後援受理書」をお送りしますので、チラシやプログラムに学会名を掲載ください。また、HP及びニュースレターにも案内を掲載させていただきます。なお出演者氏名の掲載は会員のみとなります。以下の項目それぞれ1行で39字以内を原則とします。

[コンサート等後援／協賛申請フォーム]

(文例) 以下のコンサートの後援をお願いします。

会員氏名： _____

演奏会タイトル： _____

日 時： _____

会 場： _____

料 金： _____

出 演 者： (NLには会員名のみ掲載) _____

主な曲目： (原則として1行で39字以内) _____

問い合わせ先： ホール電話番号 _____

*個人の携帯番号・メールアドレスはセキュリティ上、本会としては記載不可といたします

(3) 新刊案内・CD/DVD リリース

著者名（会員）、書名（ISBN）、出版社、価格（税込）、購入方法なども含めてお知らせください。ニューズレターとHPに掲載します。

(4) その他：隣接領域の研究會等情報などもお寄せください。

投稿受付は随時、ワードの添付書類で学会事務局宛にお願いします。

music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

5. 学会発刊の書籍の販売について

(1) 『音楽表現学』バックナンバー購入方法と価格

メール等で事務局までお申し込みください。以下の代金は、到着後郵便振替でお願いします。大学図書館などへの納入については事務局にお問い合わせください。

Vol.	会員価格（1部）	一般価格（1部）
1～3	2,500 円+送料	3,000 円+送料
4～14	3,000 円+送料	3,500 円+送料
15以降	2,500 円+送料	3,000 円+送料

(2) 『音楽表現学のフィールド2』好評発売中。

メール等で事務局までお申し込みください。会員価格にて購入いただけます。代金は、到着後書籍に同封の郵便振替でお願いします。

会員価格：3,000 円

一般価格：3,456 円

〔購入申込書〕

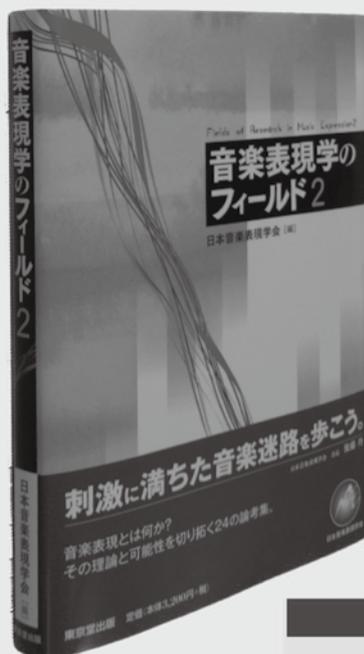
『音楽表現学のフィールド2』の購入を申し込みます。

氏名： _____

部数： _____

送付先： _____

連絡用 E-mail： _____



『音楽表現学のフィールド2』

主要部分のタイトルと執筆者

作曲、指揮、声楽、ピアノ、木管楽器、古楽器製作、電子楽器、ダンス、音楽学、メディア、邦楽、伝統音楽（能）音楽教育、幼児教育、など幅広いジャンルにわたって音楽表現学の理論と可能性を切り拓く24の論考集。

初版発行 2016年9月15日
 編者 日本音楽表現学会
 発行所 株式会社 東京堂出版
 A5版 285頁
 ISBN 978-4-490-20945-7
 定価 3,456円（本体3,200円+税）

第1部 音楽表現の理念と技法	
第1章 日本の伝統芸能における音楽表現の理念と技法	河村晴久
第1節 「能」における音楽表現の理念と技法	
第2章 楽器と演奏表現の歴史	奥村 治
第1節 アルベジョーネ再発見	
第2節 モーツァルト〈クラヴィアソナタ〉(KV331)における演奏様式の歴史的変遷	山名敏之
第3章 管楽器による音楽表現のための技法	
第1節 サクソフォンから見た「音・音楽」の様相	北山敦康
第2節 フルートから見た「音・音楽」の様相	仲戸川智隆
第4章 指揮者に求められる表現技法	
第1節 指揮者の仕事	中村隆夫
第2節 指揮の基本的な表現技法を得るために	谷口雄資
第5章 音楽表現における「合わせ」の諸相	
第1節 ピアノ奏者の視点から見た「合わせ」の諸相	澤田まゆみ
第2節 浄曲の視点から見た「合わせ」の諸相	安藤珠希
第6章 身体と音楽表現	
第1節 身体表現のための西洋音楽の感じ方・捉え方の基本事項について	石場博史
第2節 「柔軟な構え」に基づく発声訓練法	齊藤 祐
第7章 ボーダレス社会における音楽表現	
第1節 メディアの変遷と音楽	齊藤 武
第2節 電子楽器から見た現代の音楽の様相	海津幸子
第8章 現代社会における創作表現	
第1節 作曲家の立場から考える古典・創作・表現者	中村滋延
第2節 ピアニストの立場から考える古典・創作・表現者	大竹紀子
第9章 震災と音楽表現	
第1節 宮城で見られた音楽表現の諸相	吉川和夫・原田博之
第2節 被災地がつながる音楽表現	上田 益
第3節 震災を通して見えたもの	佐々木正利
第2部 音楽表現学の展開	
第1章 「上方補助音原則」再考	三島 郁
第2章 ヘンデル〈メサイア〉における歌詞の扱いと音楽	鞍山陽子
第3章 音楽文化史におけるリストのオペラ編曲	上山典子
第4章 映画『密輸船』のプリペアー・ピアノ	竹内 直
第5章 子どもの音楽表現という様式	曾田裕治
第6章 音楽的音高に対する言語的符号化の実態	水戸博道

どうぞお買い求め下さい。

学会員価格 3,000 円

一般価格 3,456 円

購入申込先

問い合わせ先 日本音楽表現学会

music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

6. 入会手続きについて

メール貼付をお願いします。

[入会申込書フォーム]

本会機関誌への投稿や大会での発表の申込みは本会会員であることが条件です。手続きには2～3週間かかります。以下の書式を用いてメールで早めにお申し込みください。

- ・ 入会申込書はHPからもダウンロードできます。
- ・ 学会からの連絡（印刷物お届けなど）は、ご記入いただいた「連絡先」に届けます。
- ・ お届けいただいた情報は、事務局で厳重に管理し、学会事務以外の使用目的には供しません。

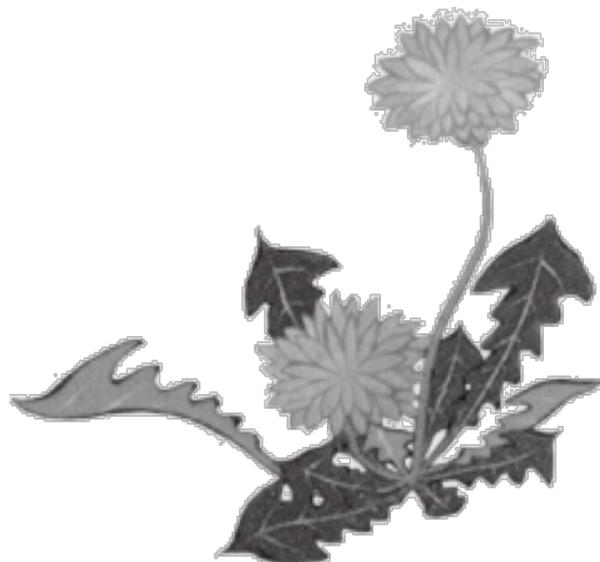
入 会 申 込 書
日本音楽表現学会に入会を申し込みます。
年 月 日
氏名（ふりがな）： _____
専門分野： _____
所 属： _____
自宅住所：〒 _____
連絡先：（上記と異なる場合）〒 _____
連絡先 Tel.： _____
e-mail： _____
推薦者名（学会員・1名） _____
音楽表現学会に期待されること。ご意見等：

7. 退会手続きについて メール貼付をお願いします [退会願書フォーム]

退会には以下の3点が必要です。

- ① 「退会願」をHPからダウンロードし、事務局に提出
 - ② その年度までの年会費完納
 - ③ 理事会の承認
- 「退会願」を提出しないで、年会費を先延ばしにしていると「会則第8条」によって除名処分になります。仕事や私的な理由で残念ながら学会員を「これ以上続けることができない」と判断された場合には、必要な手続きを行ってください。

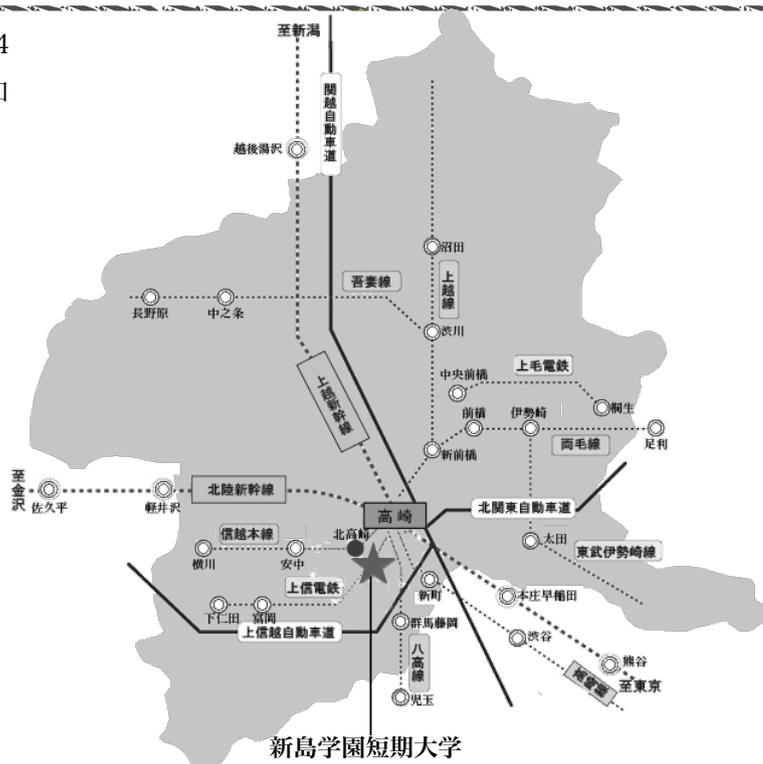
退 会 願
年 月 日
日本音楽表現学会 会長 後藤 丹 様
このたび、日本音楽表現学会を退会したいので「退会願」を提出いたします。 なお、今年度分までの会費は納入済みですのでご確認をお願いいたします。
氏 名： _____
連絡先： _____
連絡先 Tel.： _____
e-mail： _____
退会理由： _____



日本音楽表現学会第18回「ペガサス」大会のご案内 **会 場**：新島学園短期大学
期 日：2020年6月13日(土)・14日(日)

内容やアクセスの詳細、その他は本誌 p.4
 ～11 をご覧ください。多くの会員のご参加
 を高崎にてお待ちしております。

(実行委員会)



2019 年度役員・委員等一覧		
<p>会 長：後藤 丹 副 会 長：加藤富美子 山名 敏之 事 務 局 長：小野 亮祐 財 務 局 長：海津 幸子 理 事：舟橋三十子(事務局担当) 渡会 純一(財務局担当) 安藤 珠希(総務担当) 澤田まゆみ(総務担当)</p> <p>編集委員会： 委員長 水戸 博道 副委員長 渡辺 修身 委員 大竹 紀子 豊田 典子 中 磯子 長谷川正規 三島 郁 宮本賢二郎</p>	<p>著作権ワーキング： 代表 福本 康之 委員 近藤 晶子 酒井 勇也 高橋 豊 中村 滋延</p> <p>選挙管理委員会： 委員長 樫下 達也 委員 大澤 智恵 田邊健太郎</p> <p>監事： 應和 恵子 小川 有紀</p>	<p>会長諮問会議：安藤 政輝 小西 潤子 佐々木正利 杉江 淑子 豊田 典子</p> <p>参事：(事務局) 近藤 晶子 似内裕美子 中村 公俊 松井 萌 安田 香</p> <p>デザイン室長：奥 忍 スタッフ：海野真希子</p>

編 集 後 記

暖冬の影響か梅も桜もあっという間に開花となるこの春ですが、1月以降新型コロナウイルスが世界を震撼させています。音楽の世界では無観客コンサートやその配信など新たな形が出始め、音楽表現も新たなフェーズを迎えているといえるでしょう。今年の大会での企画統一テーマ「音楽の伝統と伝承」⑧は、奇しくも「音楽表現におけるメディアの影響」です。様々な議論と情報交換を期待し、胸を膨らませています。

また、本年度は会長・理事選挙が行われ、2020-21年度の新たなメンバーが選出されました。是非このニューズレターで選挙結果をご確認ください。

6月の第18回(ペガサス)大会では、皆様を万全の体制で皆様をお迎えすべく、本部と実行委員会が連携をとりながら準備を進めております。「神話と音楽」についての基調講演、レクチャーコンサートや学会初となるポスター発表が予定されています。多くの皆様のご参加をお待ちしています。
 (澤田まゆみ)